

はじめに

幼稚園教育は、「園児のために」が最重要である。そして、その鍵を握るのは、教職員である。従って、次のことを土台として、心をひとつにして教育活動を進めていく。

教師としての姿勢・公務員としての責務

- ・研修に励み、資質向上に努める。
- ・愛情をもってこどもに接し、人権を守る。
- ・こどもと共にある教師をこころがけ、一人一人のこどもを理解し、認め、ほめ、励まして、やる気と自信を育てる。(こどもが、教師にあわせるのではありません。教師が、こどもの実態に合わせ、自己変革をするのです。)
- ・指導計画に基づく教育活動を進めるとともに、計画・実施・評価のサイクルにより、教育活動を進めながらその改善を図る。
- ・併設園の利点を生かした教育活動を進める。
- ・自己申告書により、自己の目標を明確にし、成果と課題を確認しながら、自己の資質を高める。
- ・公務員として自覚し、サービスの厳正を保ち、特に守秘義務など服務規律は厳守する。

危機管理意識・能力

- ・情報を共有する・・・報告、連絡、相談
- ・危機管理の原則・・・予知、回避、対応対策、再発防止
- ・安全な施設であるよう防犯対策と確実な安全点検
- ・問題が生じたときは、即報告。一人で抱え込まず、組織として対応していく。

1 園教育目標

人間尊重の精神を基調とし、「生きる力」の基盤となる、心身共に健康で豊かな人間性を見つけた幼児の育成を目指して次の教育目標をおく。

- ・ **明るく元気なこども**・・・基本的な生活習慣を身に付け、意欲的に生活や遊びに取り組む態度を育てる。(いろいろなことをやってみようとする。)
- ・ **思いやりのあるこども**・・・互いに認め合い、尊重しあう態度や生命を大切にしている心情を養う。(自分のことも、友達のことも 大切にしている)
- ・ **自分で考え**
行動するこども・・・目的に向かって自ら考え、やり遂げようとする姿勢や社会生活における望ましい態度を育てる。(自分で考えてやってみる)

今年度の重点目標

- ①直接体験を重視した教育活動を行い、豊かな心と意欲的に行動する力を育てる。
- ②保護者が互いの力を発揮し、共に子育てを楽しみ、幼稚園や地域のこどもをみんなで育てようとする気風をつくる。

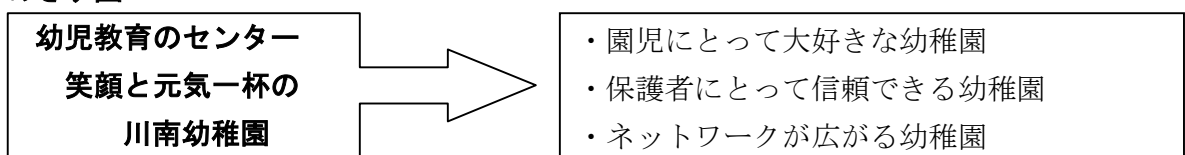
2 園経営理念

(1) 川南幼稚園の使命

地域(江東区)の幼児教育のセンターとしての役割を担っていることを基盤とし、次の三点を本園の果たすべき使命とする。

- ①幼児が、個々に応じた方法や内容で他とのかかわりを広げ、今後社会で生きるために必要な資質の基礎力を培う。
小学校における学級単位の授業を柱とした生活に適応するための基礎力を培う。
- ②保護者にとって、幼児の成長のためという共通の願いをもった保護者ならびに未就園児の保護者とのかかわりを通して、そのネットワークを広げる。
- ③地域のこどもに必要な支援体制を創るためにセンターとしての役割を果たす。

(2) めざす園



3 中期経営目標と方策

【目標】

地域と共に育ち、幼児教育のセンターとしての機能と実績の蓄積と
信頼され、地域の子育てに悩んでいる人が頼ろうと思う幼稚園

- ・ひとりひとりの育ちが実感できる幼稚園。
(基本的な生活習慣、人とかかわり、自分でやろうとする意欲)
- ・明るく活発な動きと落ち着いた和やかな動き、時に応じて満ちあふれる幼稚園。
(元気に外遊び。静かにお話を聞く。嬉しい時は喜び、悲しい時は悲しむ。
怒る時は怒る。でも、許し合い、認め合う姿がある)
- ・安心して、失敗できる幼稚園。失敗が成長につながる幼稚園。
- ・保護者も教員も、共に学びあい、成長する幼稚園。



全てのこどものために、この一点で、心がひとつになる幼稚園

【方策】

- (1) 教育活動への外部の協力者や保育者・指導者の参加の推進。
 - ・今後の連携体制を検討し、実践しながら構築する。
- (2) 教職員の研修体制の改善と充実を図る。
 - ・園公開を進め、園関係者、外部からの評価を活かす。
 - ・幼児教育の研究機関や行政関係者による助言や指導を積極的に導入する。
- (3) 保幼小と福祉会館との連携した指導計画を立てる。
 - ・保育園と教員同士の連絡会をもち互いの保育状況についての理解を図る。
 - ・小学校の指導計画とリンクさせ、今後の連携を考えていく。

4 短期経営目標と方策

(1) 目標達成のための具体的方策(取組指標)

目 標	具 体 的 方 策 (教師側の取組指標)	成果指標
基本的な習慣を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身につけることの大切さと、方法を伝える。 ・家庭と連携を強め、個人差に応じた課題を家庭と協力して解決する。 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果指標は、保護者、評議員、親子登園参加者に、アンケートや評価を実施。結果、各項目における肯定的評価、九十%以上を成果指標とする。</p>
戸外で遊ぶ習慣を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が喜んで遊ぶ運動あそびを工夫し、提供する。 ・幼児が喜んであそぶように園庭の環境を考える。 ・小学校の校庭や体育館、地域の公園を活用し、体を動かして遊ぶ機会を増やす。 	
食への関心を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・親子を対象とした食育指導をする。 ・栽培活動に取り組み、収穫物を食べる。 	
幼児の発達に応じた環境の構成を計画的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・起案検討会や学年会でねらいに応じて、保育室の環境を点検し、改善する。 ・必要な掲示物の作成を指導計画に入れ、幼児と共に、環境をつくる。 	
友だちとのかかわりを深め、思いやりの心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に異学年の交流を実施する。 ・友だちと協力して遊ぶ体験を豊富に導入する。 ・ひとりひとりの育ちに即した援助のありかたを主題とした研究を推進する。 ・年間を通じて進んであいさつをするように、はたらきかける。 	
本に親しみをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ、お話を実施する。 	
家庭や地域と連携した取り組みを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々や保護者の方の教育活動への参加協力を推進する。 ・園評議員会などを通して、外部の要望を把握する。 ・公開保育を実施する。 	
幼稚園の子育て支援を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児を対象とした親子登園の実施 ・預かり保育を実施する。 	
幼稚園の情報を積極的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の掲示板やホームページを活用する。 	

おわりに

私たちはともに教育の世界をめざし、今川南幼稚園で教育の仕事に携わっています。一人一人が、次世代の子どもたちに伝えたい想いをもっているはずです。一人一人が自分の追及したいテーマを内にもっていると思います。それを、互いに発揮し合い、高めあえる関係を築きたいと思っています。独りよがりには危険です。組織としての規律も必要です。しかし、お互いにその事を、自覚した上で、目指す子ども像にむけて、一人一人が幼児教育におけるプロ性を発揮していくことが重要です。各自が、教育のこのことに関しては、自分に任せてほしいといえるものをもつことが、これからの教育には求められてくると考えています。

そして、多くの場合、こどもの前に立った時は、一人です。その時、どういう言葉を選択し、どういう表情をするかをはじめ、最後に問われるのは、一人一人の人生観であり、人間性です。ですから、こどもの前に立つことを仕事としている私たちは、常に自分をみつめ、高めようと努力していかなくてはならないのだと考えています。

生涯教育というのは、子どもたちだけでなく、今生きている全ての人に求められています。私たちもまた、生涯にわたって、学んでいきたいと思っています。そして、川南幼稚園教育の関係者は互いに学び合い、高めあう関係でありたいと思います。

新しく、何かを知ることは喜びです。知的好奇心は、何歳になってももち続けていくものです。この一年、全職員が、お互いに尊重しあい、学びあい、そして、自らが選んだこの道を、悔いのないものにしていきたいと考えています。